

スキル標準ユーザー協会

# Standard Skill Inventory for iCD (SSI-iCD)

## マネージャー用操作マニュアル

Creation Date: 2008/3/29  
Last Updated: 2018/2/5  
Control Number: 001  
Version: 1.001



# 目次

システム概要 .....	3
システム名 .....	3
システムの目的 .....	3
システム処理概要 .....	4
ログイン/ログアウト .....	4
パスワード変更 .....	7
タスク統計 .....	8
タスク評価項目チェック .....	11
タスク評価項目チェック（役割指定） .....	18
個人評価項目チェック：タスク項目 .....	20
スキルチェック .....	24
超絞込検索 .....	28
個人入力内容閲覧 .....	31
個人プロフィール .....	33
業務経歴閲覧 .....	33
プロジェクト経歴閲覧 .....	34
セミナー受講履歴閲覧 .....	35
タスク評価項目閲覧 .....	36
フレームワーク閲覧 .....	38
個人情報プリントアウト .....	43
フレームワーク個人目標設定 .....	44
CSV出力メニュー .....	46
SURVEY提出状況閲覧 .....	47
履歴差分表示 .....	48

---

## システム概要

本章は、本システムについての基本事項について解説しています。

---

### システム名

正式名称	Standard Skill Inventory for iCDシステム
英語名称	SSI-iCD

---

### システムの目的

SSI-iCDシステムは、主に以下の4つの目的を掲げています。

- ・ エンジニアのタスク遂行力をフレームワーク（※）上で判定
- ・ エンジニアのタスク遂行力・スキル情報の管理
- ・ エンジニアのプロジェクト経歴・受講履歴の管理
- ・ エンジニア情報の検索

※フレームワークはシステム管理者機能で自由に作成が可能

## システム処理概要

SSI-iCDシステムのマネージャー処理概要を以下に記述します。

### ログイン/ログアウト

#### ログインID・パスワードの入力

ログインID、パスワード入力し、システムにログインします。

初期状態ではパスワードは未設定となっていますログインIDを入力してログインボタンをクリックしてください。

#### 注意

- パスワードは大文字小文字が区別されます。

管理者からのアナウンスがあれば表示されます。

サンプル環境

### Standard Skills Inventory for iCD LOGIN

管理者からのお知らせ

**ログイン画面へのメッセージ**  
**ログイン後は、必ずパスワードを変更してください**

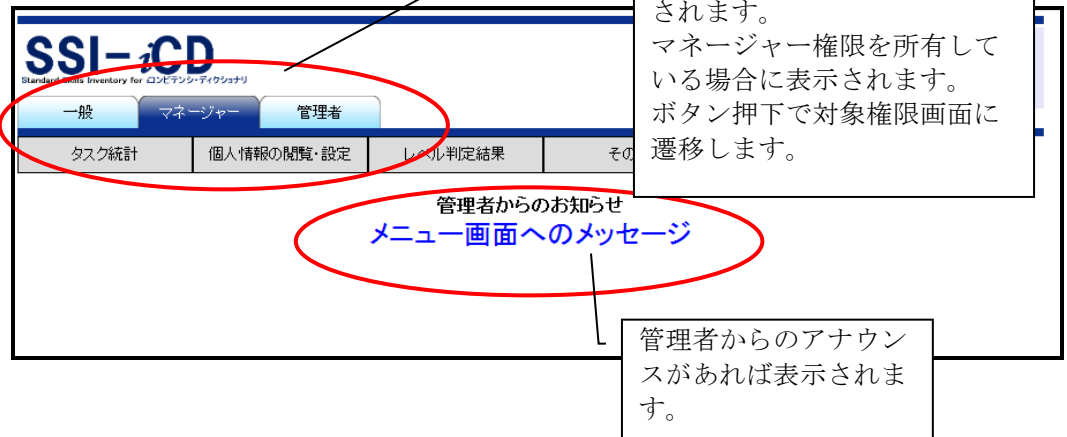
企業パスワード	<input type="password"/>
ユーザID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

パスワードは大文字小文字が区別されます

## メニュー画面

ログイン後に全メニューが表示され、SSI-iCDシステムの機能を利用することが可能となります。尚、画面下部にはメニューで選択した機能の画面が表示されます。

※表示メニューはシステムの設定により異なります。

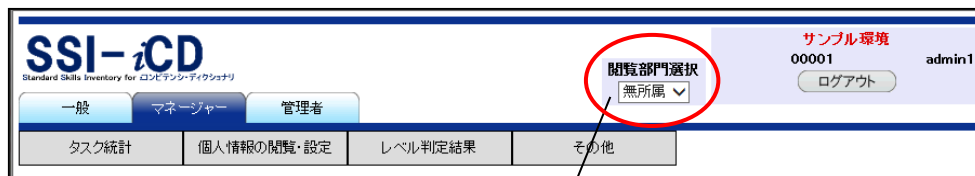


## ログアウト

一旦ログインを行うと、ブラウザを閉じるまでは再ログインが不要となります。つまり、システムにアクセスすると同時にログイン画面は表示されずに、上記のメニュー画面が表示されます。従って、システムの使用を終了する場合や、別のアカウントを使って再度ログインしたい場合などは一旦ログアウトを実行します。画面左下の「ログアウト」をクリックすれば、セッション情報は削除され、ログイン画面に戻ります。

## 閲覧可能部門

ユーザー検索制限がONになっている場合は、閲覧可能部門をメニュー画面より設定できます。（下記画面参照）



The screenshot shows the SSI-iCD interface. At the top left is the logo 'SSI-iCD' with the subtitle 'Standard Skills Inventory for コンビニエンス・ディレクション'. Below the logo are three tabs: '一般' (General), 'マネージャー' (Manager), and '管理者' (Administrator). The 'マネージャー' tab is selected. Below the tabs are four menu items: 'タスク統計' (Task Statistics), '個人情報の閲覧・設定' (View/Setting of Personal Information), 'レベル判定結果' (Level Judgment Results), and 'その他' (Others). In the top right corner, there is a red circle around the '閲覧可能部門選択' (Viewable Department Selection) dropdown menu, which currently shows '無所属' (No Department). To the right of the dropdown, there is a 'サンプル環境' (Sample Environment) section with the text '00001' and 'admin1', and a 'ログアウト' (Logout) button.

各社員検索、タスク統計、超絞込検索、フレームワーク表示で選択した部門と、その下位部門の社員のみが閲覧可能となります。

## パスワード変更

パスワードを変更します。

メニューの「その他」→「パスワード変更」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

### パスワード変更

- ・パスワードは半角英数字4文字以上10文字以内で設定してください
- ・パスワードは大文字小文字が区別されます
- ・ログインIDと同じパスワードは設定できません

ログインID	master
現在のパスワード	<input type="password"/>
新パスワード	<input type="password"/>
新パスワードを再度入力	<input type="password"/>

「現在のパスワード」には現在設定されているパスワードを、「新パスワード」「新パスワードを再度入力」に新規に設定したいパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックします。パスワードは半角英数字4文字以上10文字以内で設定します。

### 注意

- ・ パスワードは大文字小文字が区別されます。
- ・ ログインIDと同じパスワードは設定できません。

## タスク統計

部下のタスク統計を閲覧します。

メニューの「タスク統計」→「タスク統計」をクリックすると、次のような画面が表示され、タスクの一覧を閲覧することができます。

タスク統計	
タスク	
事業戦略策定	事業環境の分析
	事業戦略の策定
	事業戦略実行体制の確立
事業戦略把握・策定支援	要求(構想)の確認
	新ビジネスモデルへの提言
	事業戦略の実現シナリオへの提言
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測
	IT製品・サービス戦略の策定
IT戦略策定・実行推進	基本方針の策定
	IT化計画の策定
	IT戦略実行マネジメント
システム企画立案	システム化構想の立案
	システム化計画の策定
	業務・システム要件定義
	ITサービス要件定義
	情報セキュリティ要件定義
システム要件定義・方式設計	システム化要件定義
	システム化要件定義(Webサイト)
	システム方式設計
	システム方式設計(Webサイト)
	開発準備
	開発準備(アジャイル)
運用設計	システム運用設計
	ITサービス設計
	Webサイト運用設計
移行設計	移行設計

閲覧するタスクをクリックします。



## 該当ユーザー閲覧

該当するユーザーの閲覧を行います。

詳細情報閲覧画面の「詳細項目や、人数」をクリックすると、次のような画面が表示され、選択した項目に該当するユーザーを閲覧することができます。

習得者表示	
タスク大分類	ソフトウェア詳細設計
タスク中分類	ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)
タスク評価項目	ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する
回答ランク	他者の指導や指示に従い、実施した経験がある
<input type="button" value="評価項目表示に戻る"/>	
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	
◆他者の指導や指示に従い、実施した経験がある	
	00006 User03 00008 User05 00012 User09
<input type="button" value="評価項目表示に戻る"/>	

「ユーザー」をクリックすると該当するユーザー個人情報を閲覧することができます。

## 個人評価項目チェック

部下の入力したタスク評価項目情報をチェック・修正します。

メニューの「タスク統計」→「個人評価項目チェック」をクリックすると、次のような画面が表示され、チェック対象者を検索することが出来ます。

### 個人評価項目チェック

---

◆社員指定

社員番号  \*完全一致検索

社員名  \*中間一致検索

---

◆社員選択

14名ヒットしました

社員番号	社員名
00001	admin1
00002	admin2
00004	User01
00005	User02
00006	User03
00007	User04
00008	User05
00009	User06
00010	User07
00011	User08
00012	User09
00013	User10
99999	システム管理者

チェックを行いたい社員をクリックします。

## チェックタスクの選択

タスク評価項目チェックを行います。

チェックを行いたいタスクを選択してください。既にチェックを行っているタスクには、右端に「訂正あり」の表示が出ます。

### 備考




更新旗については、「タスク評価項目：更新旗設定」によって表示条件が変わります。

モード	モード概要
1	最後に更新を行ったタスクに旗が立つ
2	「設定」を実施したタスク全てに旗が立つ (旗のクリアが可能)

### 個人評価項目チェック【User01さん】

・評価項目の入力を行うタスクを選択してください

[社員選択に戻る](#)

タスク	チェックを行ったタスク に表示されます。	訂正あり 訂正あり
事業戦略策定	◆事業戦略実行体制の確立	
事業戦略把握・策定支援	◆要求(構想)の確認	
	◆新ビジネスモデルへの提言	
	◆事業戦略の実現シナリオへの提言	
	◆市場動向の調査・分析・予測	
IT製品・サービス戦略策定	◆IT製品・サービス戦略の策定	
IT戦略策定・実行推進	◆基本方針の策定	
システム企画立案	◆業務・システム要件定義	
	◆ITサービス要件定義	
	◆情報セキュリティ要件定義	
システム要件定義・方式設計	◆システム化要件定義	
	◆システム化要件定義(Webサイト)	

対象ユーザーが最後に設定したタスクに表示されます

## 登録タスクのチェック

タスク評価項目チェックを行います。

背景が薄い青色になっている部分が本人登録の回答ランクであり、赤色になっている部分がマネージャー登録の回答ランクです。マネージャーにより登録が行われた場合には、本人のメニュー画面に登録が行われた旨のメッセージが表示されます。

詳細情報をチェックしたい場合には「詳細あり」リンクをクリックしてください。

設定 タスク一覧に戻る

■ 登録者本人が登録したスキル ■ マネージャが登録したタスク評価項目

タスクに関連する研修情報を表示します 表示

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	○	○	○	○	○	○	[詳細]
すべてのソフトウェア要件が、コンポーネントからユニットへ割り当てられることを確認する	○	○	○	○	○	○	
詳細化されたユニット単位に詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	▶
人出力詳細設計	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
コンポーネント間のインタフェースの詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
コンポーネント間のユーザインタフェースの詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
バックアップ、リカバリに関するデータファイル保全処理の詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
パッケージカスタマイズ・アドオン設計	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
ソフトウェア方式設計で定義したカスタマイズの内容に基づき、パラメータの設定を決定する	○	○	○	○	○	○	
ソフトウェア方式設計で定義したアドオン機能の詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
パッケージおよびアドオン機能とのインタフェースの詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
データサービスの活用	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
外部データサービスとの連携方式およびデータ構造、インタフェースの詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
外部データサービスと連携するプログラムおよびモジュールを共有化し、詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	
外部データの取り込みや加工のロジックを決定し、詳細設計を行う	○	○	○	○	○	○	

設定 タスク一覧に戻る

詳細情報をチェックする場合「詳細あり」をクリックします。

※以下の画面は、詳細情報の表示・設定内容によって表示内容が変更されます。

詳細情報の扱いのモードとその概要は、以下の通りです。

モード	モード概要
1	詳細回答ランクの登録を行う。
2	詳細参照情報として活用
3	使用しない。

## 登録詳細情報のチェック

詳細情報チェックを行います。

画面の内容は「タスクのチェック」と同様です。

### 個人詳細項目チェック【User01さん】

・登録者本人の詳細項目修正ができます

選択タスク

ソフトウェア詳細設計

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)

ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する

回答ランク

R0 なし

R1 経験はないが、知識はある

R2 他者の指導や指示に従い、実施した経験がある

R3 独力で実施した経験がある

R4 メンバーを指導した経験がある

登録者本人が登録した詳細項目
  マネージャが登録した詳細項目

ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	
ソフトウェアエンジニアリング手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
ソフトウェアデザイン手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
ソフトウェアのモデリング手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
ソフトウェア開発手法	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

## ロック機能

タスク評価項目の入力中は、選択したタスクに対して他ユーザーが同時に更新できないようロックがかかります。

チェック中の社員本人が選択したタスクを設定中の場合は次のような画面が表示され登録内容の閲覧のみが可能になります。

※本機能は、モード1 の場合のみ発生します。

個人評価項目チェック【User01さん】【ソフトウェア詳細設計】

・登録者本人の習得評価項目の修正ができます

ページ内ジャンプ

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)

入出力詳細設計

バックアップ・カスタマイズ・アドオン設計

データサービスの活用

回答ランク

R0 なし

R1 経験はないが、知識はある

R2 他者の指導や指示に依り、実施した経験がある

R3 独力で実施した経験がある

R4 メンバーを指導した経験がある

現在、登録者本人が登録中ですので、下記のタスクは登録できません  
分類選択にお戻りください  
タスク一覧に戻る

登録者本人が登録したタスク評価項目

マネージャが登録したタスク評価項目

タスクに関連する研修情報を表示します 表示

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する							詳細
すべてのソフトウェア要件が、コンポーネントからユニットへ割り当てられることを確認する							
詳細化されたユニット単位に詳細設計を行う							

入出力詳細設計

コンポーネント間のインタフェースの詳細設計を行う

コンポーネント間のユーザインタフェースの詳細設計を行う

バックアップ、リカバリに関するデータファイル保全処理の詳細設計を行う

未回答

R0

R1

R2

R3

R4

詳細項目

詳細情報についても、ロック中は詳細情報登録内容の閲覧のみが可能になります。

## 注意点

タスク評価項目情報のチェック中は選択したタスクに対してロックをかけている状態になります。ブラウザの「戻る」（ヒストリーバック機能）で画面遷移させると一定時間ロックがかかった状態になってしまいますので「設定」、「分類選択に戻る」クリックを行うようにしてください。

## 詳細情報入力（モード2）

参照情報の閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「詳細あり」をクリックすると、次のような画面が表示され参照情報を閲覧することができます。

個人詳細項目チェック【User01さん】

選択タスク

ソフトウェア詳細設計  
ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)  
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する

閉じる


ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する

ソフトウェアエンジニアリング手法  
ソフトウェアデザイン手法  
ソフトウェアのモデリング手法  
ソフトウェア開発手法

閉じる

## 関連スキルディクショナリ

関連するスキルディクショナリの閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「」をクリックすると、次のような画面が表示されタスクに関連するスキルディクショナリを閲覧することができます。

関連スキルディクショナリ

閉じる

スキルカテゴリ	タスク分類	スキル項目
メソッドロジ	(戦略) 市場機会の評価と選定	ビジネス戦略と目標・評価 経営戦略手法
関連知識	企業活動	経営・組織論 OR・IE

スキルカテゴリ

タスク分類

スキル項目

閉じる

## 研修情報

関連する研修情報の閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「タスクに関連する研修情報を表示します」の表示ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されタスクに関連する研修を閲覧することができます。

研修情報						
・スキルアップに役立つ研修一覧です						
研修ID	研修主管	研修カテゴリ	研修コース名	研修日数	研修場所	受講可能期間
0001	全社施策	営業	企業研修01	3.0	社内	2015/07/01 ~2015/08/01
0002	社外セミナー	マーケティング・ビジネス企画	マーケット調査02	5.0	会議室C	2015/01/01 ~2016/01/01

閉じる

## 個人評価項目チェック（役割指定）

部下の入力したタスク評価項目情報を役割で限定し、チェック・修正します。

メニューの「タスク統計」→「個人評価項目チェック（役割指定）」をクリックすると、次のような画面が表示され、チェック対象者を検索することが出来ます。

役割／専門分野指定 個人チェック

◆社員指定

社員番号 \*完全一致検索

社員名 \*中間一致検索

社員検索

◆社員選択

14名ヒットしました

社員番号	社員名
00001	admin1
00002	admin2
00004	User01
00005	User02
00006	User03
00007	User04
00008	User05
00009	User06
00010	User07
00011	User08
00012	User09
00013	User10
99999	システム管理者

チェックを行いたい社員をクリックします。

### フレームワークの選択

チェックを行いたいフレームワークを選択してください。

役割／専門分野指定 個人チェック【User01さん】

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択

☐ キャリアフレームワーク

☐ タスクフレームワーク

フレームワーク選択 戻る

チェックを行うフレームワークを選択し、「フレームワーク選択」をクリックすると次のような画面が表示され、役割を閲覧・選択することが出来ます。

## 役割／専門分野指定 個人チェック【User01さん】

・入力を行ないたい役割を選択してください

役割選択
フレームワーク選択に戻る

役割	専門分野
<input type="checkbox"/> ストラテジックプランナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ソリューションセールス	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ビジネスコンサルタント	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プロジェクトマネージャー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITアーキテクト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデベロッパー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> インフラデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITサービスマネージャー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITスタッフ	<input type="checkbox"/> -

役割選択
フレームワーク選択に戻る

チェックを行う役割を選択し、「選択」をクリックするとその役割に条件として設定されているタスク一覧が表示されます。

※ユーザーが既に入力済みの場合、ユーザーが選択した役割に対してチェックが入った状態で表示がされます。

## 役割／専門分野指定 個人チェック【User01さん】

・評価項目の入力を行うタスクを選択してください

選択フレームワーク

キャリアフレームワーク

選択 役割／専門分野

ストラテジックプランナー -

戻る

タスク			
事業戦略策定	◆事業環境の分析	訂正あり	
	◆事業戦略の策定	訂正あり	
	◆事業戦略実行体制の確立		
事業戦略把握・策定支援	◆要求(構想)の確認		
	◆新ビジネスモデルへの提言		
	◆事業戦略の実現シナリオへの提言		
IT製品・サービス戦略策定	◆市場動向の調査・分析・予測		
	◆IT製品・サービス戦略の策定		
IT戦略策定・実行推進	◆基本方針の策定		
	◆IT化計画の策定		
	◆IT戦略実行マネジメント		

チェックしたいタスクをクリックすると、タスク評価項目チェック画面に遷移します。

※選択した、役割のレベル判定条件になっているタスク以外は表示されません

タスク評価項目・詳細情報のチェックについては「タスク評価項目チェック」のタスク評価項目のチェックと同様になります。参照下さい。

## 個人評価項目チェック：タスク項目

部下の入力したタスク項目レベル情報を役割単位で限定し、チェック・修正します。

メニューの「個人評価項目チェック：タスク項目」をクリックすると、次のような画面が表示され、チェック対象者を検索することが出来ます。

タスク項目指定 個人評価項目チェック

◆社員指定

社員番号  \*完全一致検索

社員名  \*中間一致検索

社員検索

◆社員選択

2名ヒットしました

社員番号	社員名
test	テストユーザー
z00001	test

チェックを行いたい社員をクリックします。

### フレームワークの選択

チェックを行いたいフレームワークを選択してください。

タスク項目指定 個人評価項目チェック【テストユーザーさん】

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択

☐ キャリアフレームワーク

フレームワーク選択 戻る

チェックを行うフレームワークを選択し、「フレームワーク選択」をクリックすると次のような画面が表示され、役割／専門分野を閲覧・選択することができます。

## タスク項目指定 個人評価項目チェック【テストユーザーさん】

・役割／専門分野を選択してください

役割／専門分野選択	フレームワーク選択に戻る
-----------	--------------

役割	専門分野
<input type="checkbox"/> ビジネスストラテジスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISストラテジスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プログラム マネージャ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プロジェクトマネージャ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアナリスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> システムデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISオペレーション	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアドミニストレータ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアーキテクト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> セキュリティアドミニストレータ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISスタッフ	<input type="checkbox"/> 情報機器・情報資産管理
	<input type="checkbox"/> 事業継続計画
	<input type="checkbox"/> コンプライアンス
	<input type="checkbox"/> 人的資源管理
	<input type="checkbox"/> 契約管理
<input type="checkbox"/> ISオーディタ	<input type="checkbox"/> -

役割／専門分野選択	フレームワーク選択に戻る
-----------	--------------

チェックを行う役割/専門分野を選択し、「役割/専門分野選択」をクリックするとタスク一覧が表示されます。選択した役割/専門分野に必要なタスクのみ選択できるようになっています。

タスク項目指定 個人評価項目チェック【テストユーザーさん】	
・タスクチェックを行う分野を選択してください	
<div>選択フレームワーク</div> <div>キャリアフレームワーク</div> <div>選択 役割／専門分野</div> <div>ストラテジックプランナー -</div>	
<div>戻る</div>	
タスク	
事業戦略策定	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析 <input checked="" type="checkbox"/> 事業戦略の策定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業戦略実行体制の確立
事業戦略把握・策定支援	<input checked="" type="checkbox"/> 要求(構想)の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 新ビジネスモデルへの提言 <input checked="" type="checkbox"/> 事業戦略の実現シナリオへの提言
IT製品・サービス戦略策定	<input checked="" type="checkbox"/> 市場動向の調査・分析・予測 <input checked="" type="checkbox"/> IT製品・サービス戦略の策定
IT戦略策定・実行推進	<input checked="" type="checkbox"/> 基本方針の策定 <input checked="" type="checkbox"/> IT化計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> IT戦略実行マネジメント
システム企画立案	<input checked="" type="checkbox"/> システム化構想の立案 <input checked="" type="checkbox"/> システム化計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> 業務・システム要件定義

チェックしたいタスクをクリックすると、次のような画面を表示され、タスク項目レベルチェックを行うことができます。

### タスク項目指定 個人評価項目チェック【テストユーザーさん】

・レベルに、フラグを設定できます

**選択フレームワーク**  
テストフレームワーク

レベル	レベル定義
Level1	一部の知識や技術を有し、一部の業務に活用している
Level2	一部の知識や技術を有し、一連の業務に活用している
Level3	全般的な知識や技術を有し、独力で活用している
Level4	全般的な知識や技術を有し、独力で活用、後進の育成をしている
Level5	社内で専門家として、認知されている
Level6	社内外で専門家として、認知されている
Level7	社外で第一人者として、認知されている

フラグ設定    タスク一覧に戻る

■ 登録済みタスク項目レベル    ■ マネージャが設定したタスク項目レベル

要求(構想)の確認	LV0	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5	LV6	LV7
要求(構想)の確認	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

フラグ設定    タスク一覧に戻る

「フラグ設定」ボタンをクリックで、タスク項目レベルを設定することができます。

また、レベル条件を閲覧する場合は、各タスクのリンクをクリックすると、以下の画面がポップアップで表示され、レベル条件を閲覧することができます。

### タスク項目レベル判定条件【テストユーザーさん】

**選択フレームワーク**  
テストフレームワーク

閉じる

■ 登録済みタスク項目レベル    ■ マネージャが設定したタスク項目レベル

要求(構想)の確認	LV0	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5	LV6	LV7
要求(構想)の確認	<span style="color: blue;">■</span>	*	*	*	*	*	*	*

閉じる

レベルをクリックすると以下の画面が表示され、レベルグループ条件を閲覧することができます。

### タスク項目レベル判定条件【テストユーザーさん】

タイトル	テストフレームワーク
レベル	Level 1

文字 の項目はテストユーザーさんの習得済みタスク項目です  
文字 の項目はテストユーザーさんの未習得タスク項目です

◆タスク項目レベル条件

要求(構想)の確認	習得状況
全項目必須 1項目以上	◆R1 習得済み

前画面に戻る    閉じる

条件グループリンクをクリックすると、以下の画面が表示されレベル条件の詳細を閲覧することができます。

## タスク項目レベル判定条件【テストユーザーさん】

**タイトル** テストフレームワーク

**レベル** Level 1

**文字** の項目はテストユーザーさんの習得済みタスク項目です

**文字** の項目はテストユーザーさんの未習得タスク項目です

### ◆タスク項目レベル条件

要求(構想)の確認				レベル条件	回答ランク
1項目以上	要求(構想)の確認	要求(構想)の確認	企業目標、中長期構想など経営レベルの要求を正確に捉えることができる	R1	R1
			企業の内外環境を正確に捉え、全社戦略指針を提案できる	R1	未回答
			収集した情報から現状のリソース(ヒト、モノ、カネ、情報)に関する課題の抽出ができる	R1	R1

前画面に戻る

閉じる

## スキルチェック

スキルチェックを行います。

チェックを行いたいスキルを選択してください。既にチェックを行っているスキルには、右端に「訂正あり」の表示が出ます。

### 備考

更新旗については、「スキル：更新旗設定」によって表示条件が変わります。

モード	モード概要
1	最後に更新を行ったスキルに旗が立つ
2	「設定」を実施したスキル全てに旗が立つ (旗のクリアが可能)

### スキルディクショナリ【パイロットレコーダーさん】

・入力を行うスキルを選択してください

社員選択に戻る

スキル		
メソドログ	◆(戦略) 市場機会の評価と選定	訂正あり
	□(戦略) マーケティング	
	□(戦略) 製品・サービス戦略	
	□(戦略) 販売戦略	
	□(戦略) 製品・サービス開発戦略	
	□(戦略) システム戦略立案手法	
	□(戦略) コンサルティング手法	
	□(戦略) 業務動向把握手法	
	□(企画) システム企画立案手法	
	□(企画) セールス事務管理手法	
	□(企画) 要求分析手法	
	□(企画) 非機能要件設計手法	
	□(実装) アーキテクチャ設計手法	
	□(実装) ソフトウェアエンジニアリング手法	
	□(実装) カスタマーサービス手法	
	□(実装) 業務パッケージ活用法	
	□(実装) データマイニング手法	
	□(実装) 見積り手法	
	□(実装) プロジェクトマネジメント手法	
	□(利活用) サービスマネジメント	

上記、モードに沿って更新旗が表示されます。

マネージャーにより修正された項目がある場合、「訂正あり」と表示されます。

## 登録スキルのチェック

スキルチェックを行います。

背景が薄い青色になっている部分が本人登録の回答ランクであり、赤色になっている部分がマネージャー登録の回答ランクです。マネージャーにより登録が行われた場合には、本人のメニュー画面に登録が行われた旨のメッセージが表示されます。

**スキルディクショナリ【パイロットレコーダーさん】【(戦略) 市場機会の評価と選定】**

・登録者本人の習得スキル情報の修正ができません

回答ランク										
L0	なし									
L1	技術内容を講義などを受講し知っている／知識がある									
L2	指示があると使える、活用できる／実装経験がある									
L3	機能要件が作成できる／自立してある限定条件で仕事ができる									
L4	非機能要件を考慮して最適化できる、最適解が出せる／定石外しができる／高度情報処理試験に合格するレベル									
L5	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある									
L6	業界に貢献し認知されるレベルにある									
L7	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある									

設定
一覧に戻る

登録者本人が登録したスキル
  マネージャが登録したスキル

(戦略) 市場機会の評価と選定	未回答	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	知識項目
ビジネス環境分析手法	○	○	○	○	●	●	○	○	○	知識項目
ビジネス戦略と目標・評価	○	○	○	○	○	●	○	○	○	知識項目
業界動向把握の手法	○	○	○	○	○	●	●	○	○	知識項目
経営管理システム	○	○	○	○	○	●	●	○	○	知識項目
経営戦略手法	○	○	○	○	○	●	●	○	○	知識項目
最新技術動向把握の手法	○	○	○	○	○	●	○	○	○	知識項目
市場調査手法	○	○	○	○	○	●	○	○	○	知識項目

設定
一覧に戻る

## 備考

知識項目の表示を行う場合「知識項目」をクリックします。

## 知識項目表示

知識項目の表示を行います。

スキル入力画面の「知識項目」をクリックすると、次のような画面が表示され、知識項目を表示することができます。

選択スキル

メトロロジ

〈戦略〉市場機会の評価と選定

市場調査手法

習得知識項目

閉じる

市場調査手法

ASP

IT業界の動向(事例)

SaaS

SOA

マクロ環境分析

仮説検証

競合分析

業務システム提案

顧客バリエーション

顧客分析

市場の需要測定

市場の定義

市場機会の分析

市場全体の把握

市場調査の実施

市場調査の設計

市場調査計画の作成

市場調査目的の設定

市場動向及び他社動向の把握

市場分析

情報の収集

情報の分析

調査・分析手法

内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)

閉じる

## ロック機能

スキル入力中は、選択したスキルに対して他ユーザーが同時に更新できないようロックがかかります。

チェック中の社員本人が選択したスキルを設定中の場合は次のような画面が表示され登録内容の閲覧のみが可能になります。

**スキルディクショナリ【パイロットレコーダーさん】【(戦略) 市場機会の評価と選定】**

・登録者本人の習得スキル情報の修正ができます

回答ランク	
L0	なし
L1	技術内容を講義などを受講し知っている／知識がある
L2	指示があると使える、活用できる／実装経験がある
L3	機能要件が作成できる／自立してある限定条件で仕事ができる
L4	非機能要件を考慮して最適化できる、最適解を出せる／定石外しができる／高度情報処理試験に合格するレベル
L5	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある
L6	業界に貢献し認知されるレベルにある
L7	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある

現在、登録者本人がスキルを登録中ですので、下記のスキルは登録できません  
一覧にお戻りください

登録者本人が登録したスキル
  マネージャが登録したスキル

(戦略) 市場機会の評価と選定	未回答	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	知識項目	
ビジネス環境分析手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	
ビジネス戦略と目標・評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	
業界動向把握の手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	
経営管理システム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	
経営戦略手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	<input checked="" type="checkbox"/>
最新技術動向把握の手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	
市場調査手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知識項目	<input type="checkbox"/>

## 注意点

スキル入力中は選択したスキルに対してロックをかけている状態になります。ブラウザの「戻る」（ヒストリーバック機能）で画面遷移させると一定時間ロックがかかった状態になってしまいますので「設定」、「一覧に戻る」をクリックを行うようにしてください。

## 超絞込検索

部下の情報を所属部門・プロジェクト経歴・フレームワークレベル条件から検索を行います。

メニューの「個人情報の閲覧・設定」→「超絞込検索」をクリックすると次のような画面が表示されます。

### 超絞込検索

・検索条件を選択してください

検索スタート

◆社員情報条件

部門情報条件	選択した部門に所属する社員を検索
組織	<div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本部門</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 5px;">組織から部門を絞込</div> </div>

◆習得タスク評価項目の条件

習得タスク評価項目の条件	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>タスク大分類</div> <div>タスク中分類</div> <div>タスク小分類</div> <div>回答ランク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条件追加</div> </div>
右の条件を総て含む	<p style="font-size: small;">指定なし</p> <p style="font-size: x-small;">詳細項目を選択した場合は詳細項目のみが検索条件になります R0を条件とした場合は 習得スキルR0のみが検索条件になります</p>

◆プロジェクト経歴条件

プロジェクト規模	金額	指定なし
右の条件を総て含む	人数	指定なし
	期間	指定なし
	その他	指定なし
役割-職種	メンバー	<div style="display: flex;"> <div>スタッフエンジニア</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	スーパーダー	<div style="display: flex;"> <div>ファンクションや、機能レベルの副リーダー</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	リーダー	<div style="display: flex;"> <div>ファンクションや、機能レベルのリーダー</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	責任者	<div style="display: flex;"> <div>プロジェクト全体の責任者</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
役割-フェーズ	提案活動	<div style="display: flex;"> <div>プリセールスの活動</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	プロジェクト計画	<div style="display: flex;"> <div>プロジェクトの計画を立てる</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	業務分析	<div style="display: flex;"> <div>業務の分析を行う</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	基本設計	<div style="display: flex;"> <div>基本設計を行う</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	開発	<div style="display: flex;"> <div>プログラミング</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	移行	<div style="display: flex;"> <div>移行作業</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	保守・管理	<div style="display: flex;"> <div>システムの保守・管理</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
	その他	<div style="display: flex;"> <div>その他</div> <div style="margin-left: 10px;"><input type="checkbox"/></div> </div>
タスク評価項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>タスク大分類</div> <div>タスク中分類</div> <div>タスク小分類</div> <div>回答ランク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条件追加</div> </div>	
右の条件を総て含む	<p style="font-size: small;">指定なし</p> <p style="font-size: x-small;">詳細項目を選択した場合は詳細項目のみが検索条件になります</p>	

◆キャリアフレームワークレベル条件

以下条件を総て含む	
役割	専門分野
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>エントリー</div> <div>アシスタント</div> <div>ミドル</div> <div>シニア</div> <div>エキスパート</div> <div>プロフェッショナル</div> </div>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>Level1</div> <div>Level2</div> <div>Level3</div> <div>Level4</div> <div>Level5</div> <div>Level6</div> </div>
ストラテジックプランナー	-
ソリューションセールス	-
ビジネスコンサルタント	-
プロジェクトマネージャー	-
ITアーキテクト	-
アプリケーションデザイナー	-
アプリケーションデベロッパー	-
インフラデザイナー	-
ITサービスマネージャー	-
ITスタッフ	-
役割	専門分野
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>エントリー</div> <div>アシスタント</div> <div>ミドル</div> <div>シニア</div> <div>エキスパート</div> <div>プロフェッショナル</div> </div>

組織を選択し、ボタンを押下で選択した組織の部門が表示されます。

習得タスク評価項目条件追加

タスク評価項目条件追加

検索スタート

プロジェクト経歴のタスク評価項目を検索条件とする場合は「条件追加」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、タスク評価項目を検索条件に追加することができます。（追加した内容を削除する場合は「削除」ボタンをクリックします）

### 超絞込検索

・検索条件にするタスクの分類を選択してください

[戻る](#)

選択すると、該当するタスクが表示される。

- 事業戦略把握・策定支援
- IT製品・サービス戦略策定
- IT戦略策定・実行推進
- システム企画立案

事業環境の分析
事業戦略の策定
事業戦略実行体制の確立
要求(構想)の確認
新ビジネスモデルへの提言
事業戦略の実現シナリオへの提言
市場動向の調査・分析・予測
IT製品・サービス戦略の策定
基本方針の策定

#### 超絞込検索

・検索条件にするタスク評価項目を選択してください

**ページ内ジャンプ**

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)  
 入出力詳細設計  
 ハックージャカスタマイズ・アドオン設計  
 データサービスの活用

**回答ランク**

R0 無し  
 R1 経験はないが、知識はある  
 R2 他者の指導や指示にない、実施した経験がある  
 R3 独力で実施した経験がある  
 R4 メンバーを指導した経験がある

ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	本選	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<a href="#">詳細</a>
すべてのソフトウェア要件が、コンポーネントからユニットへ割り当てられることを確認する	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<a href="#">詳細</a>
詳細化されたユニット単位に詳細設計を行う	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<a href="#">詳細</a>

[追加](#)
[タスク一覧に戻る](#)

詳細情報がある場合は  
ボタンが表示される。  
※詳細モード1の場合  
のみ

※ 習得タスク評価項目を検索条件とする場合も、画面操作は同様です。  
また、条件とできるタスク評価項目数は40件までとなります。

「検索スタート」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、検索結果が閲覧することができます。

### 超絞込検索

・閲覧したいユーザーを選択してください

◆ユーザー情報

10名ヒットしました

本部	部門	社員番号	社員名
A本部	A-1 部門	150	サンプルユーザー_150
A本部	A-1 部門	151	サンプルユーザー_151
A本部	A-1 部門	152	サンプルユーザー_152
A本部	A-1 部門	153	サンプルユーザー_153
A本部	A-1 部門	154	サンプルユーザー_154
A本部	A-1 部門	155	サンプルユーザー_155
A本部	A-1 部門	156	サンプルユーザー_156
A本部	A-1 部門	157	サンプルユーザー_157
A本部	A-1 部門	158	サンプルユーザー_158
A本部	A-1 部門	159	サンプルユーザー_159

[CSV出力](#)
[戻る](#)

検索結果の「社員番号、ユーザー」をクリックするとそのユーザーの個人情報を閲覧することができます。

個人情報メニューは「個人情報メニュー」と同様です。

検索結果の「CSV出力」をクリックすると、次のような画面が表示され、出力CSVフォーマットを選択することが出来ます。

CSV出力メニュー

◆統計・一覧CSV出力

選択	出力フォーマット
<input type="radio"/>	ユーザー進捗状況一覧
<input type="radio"/>	評価項目統計

CSV出力

「CSV出力」をクリックで選択したフォーマットでCSVファイルを出力します。

## 個人入力内容閲覧

部下の個人情報閲覧を行います。

メニューの「個人情報の閲覧・設定」→「個人入力内容閲覧」をクリックすると次のような画面が表示されます。

### 個人情報メニュー

---

◆社員指定

社員番号  \*完全一致検索

社員名  \*中間一致検索

---

「社員検索」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、検索結果が閲覧することができます。

### 個人情報メニュー

---

◆社員指定

社員番号  \*完全一致検索

社員名  \*中間一致検索

---

◆社員選択

41名ヒットしました

1～10 人目 次→

社員番号	社員名
110	サンプルユーザー_110
111	サンプルユーザー_111
112	サンプルユーザー_112
113	サンプルユーザー_113
114	サンプルユーザー_114
115	サンプルユーザー_115
116	サンプルユーザー_116
117	サンプルユーザー_117
118	サンプルユーザー_118
119	サンプルユーザー_119

---

個人情報メニューの「ユーザー」をクリックすると、次のような画面が表示され、個人情報を閲覧することができます。

個人情報メニュー

User01さんの個人情報

◆個人プロフィール

経歴履歴の閲覧

□業務経歴

□プロジェクト経歴

□セミナー受講履歴

各種タスクに関する設問

◆タスク評価項目

◆キャリアフレームワーク

◆個人情報プリントアウト

◆CSV出力メニュー

## 個人プロフィール

プロフィールを閲覧します。

個人情報メニューの「個人プロフィール」をクリックすると次のような画面が表示されます。

個人情報メニュー

サンプルユーザー\_110さんの個人情報

個人プロフィール

社員番号	110
氏名	サンプルユーザー_110
ログインID	110
Eメール	itss@com
所属部門	A本部

## 業務経歴閲覧

業務経歴の閲覧を行います。

個人情報メニューの「業務経歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、業務経歴の一覧を閲覧することができます。

個人情報メニュー

サンプルユーザー\_110さんの個人情報

業務経歴

部署名	役割	開始日	終了日	コメント
業務経歴1	リーダー	2009/10/01	進行中	コメント

## プロジェクト経歴閲覧

プロジェクト経歴の閲覧を行います。

個人情報メニューの「プロジェクト経歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、プロジェクト経歴の一覧を閲覧することができます。

個人情報メニュー

サンプルユーザー\_110さんの個人情報

プロジェクト経歴

プロジェクト名	開始日	終了日	
プロジェクト経歴1	2009/10/01	進行中	<a href="#">詳細表示</a>

プロジェクト経歴一覧の「詳細表示」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、プロジェクト経歴詳細を閲覧することができます。

個人情報メニュー

User01さんの個人情報

プロジェクト経歴

[戻る](#)

プロジェクト名	プロジェクト経歴
開始日	2014/10/01
終了日	進行中

会社名	sample
プロジェクト概要	債権管理システム
プロジェクト規模-金額	年間売上金額1,000万円以上
プロジェクト規模-人数	管理する要員数がピーク時5人以上10人未満のプロジェクト
プロジェクト規模-期間	開発期間6ヶ月未満
プロジェクト規模-その他	
顧客名	〇〇製薬会社
役割-職種	サブリーダー:ファンクションや、機能レベルの副リーダー
役割-システムフェーズ	・プロジェクト計画 ・業務分析 ・基本設計
役割-詳細	
タスク評価項目	
コメント	

## セミナー受講履歴閲覧

セミナー受講履歴の閲覧を行います。

個人情報メニューの「セミナー受講履歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、セミナー受講履歴の一覧を閲覧することができます。

個人情報メニュー

サンプルユーザー\_110さんの個人情報

セミナー受講履歴

セミナー名	受講日	コメント
セミナー名1	2009/10/01	コメント

## タスク評価項目閲覧

タスク評価項目の閲覧を行います。

個人情報メニューの「タスク評価項目」をクリックすると、次のような画面が表示され、タスクの一覧を閲覧することができます。マネージャー・管理者に訂正されているタスクは「訂正あり」が表示されます。

個人情報メニュー			
User01さんの個人情報			
タスク評価項目			
タスク			
事業戦略策定	◆事業環境の分析	訂正あり	
	◆事業戦略の策定	訂正あり	
	◆事業戦略実行体制の確立		
事業戦略把握・策定支援	◆要求(構想)の確認		
	◆新ビジネスモデルへの提言		
	◆事業戦略の実現シナリオへの提言		
IT製品・サービス戦略策定	◆市場動向の調査・分析・予測		
	◆IT製品・サービス戦略の策定		
IT戦略策定・実行推進	◆基本方針の策定		
	◆IT化計画の策定		
	◆IT戦略実行マネジメント		
システム企画立案	◆システム化構想の立案		
	◆システム化計画の策定		
	◆業務・システム要件定義		
	◆ITサービス要件定義		
システム要件定義・方式設計	◆情報セキュリティ要件定義		
	◆システム化要件定義		
	◆システム化要件定義(Webサイト)		
	◆システム方式設計		
	◆システム方式設計(Webサイト)		

閲覧するタスクをクリックします。

## タスク評価項目閲覧

タスク評価項目の閲覧を行います。

タスク画面の「タスク」をクリックすると、次のような画面が表示され、タスク評価項目の一覧を閲覧することができます。

個人情報メニュー

User01さんの個人情報

タスク評価項目

User01さんの評価項目 赤字は管理者またはマネージャーが設定した項目です

登録日	タスク	評価項目	ランク	
<b>事業環境の分析</b>				
2015/06/26	経営方針の確認	自社の基本理念・ビジョン・方針を理解する	R1	
2015/07/13	経営方針の確認	新たな事業計画を立案するにあたり、経営方針や経営陣の思いを確認、共有する	R2	訂正あり
2015/06/26	経営方針の確認	事業で達成すべき目標を定めるために、企業目標を把握する	R1	
2015/06/26	外部環境の分析	マクロ環境(自社を取り巻く産業や業界)の変化の要因を調査、把握する	R1	
2015/06/26	外部環境の分析	自社が所属する業界や自社製品・サービスの市場規模および今後の見通しを調査、把握する	R2	
2015/06/26	外部環境の分析	競合他社の市場シェア、収益性、動向を調査、把握する	R2	
2015/06/26	内部環境の分析	自社の組織体制、現状人員数、配置状況を把握する	R0	
2015/06/26	内部環境の分析	自社の収益性、安全性、生産性等の財務状況を把握する	R3	
2015/06/26	内部環境の分析	自社の製品やサービスの売上高、利益率、ライフサイクル上のポジションを把握する	R1	
2015/06/26	内部環境の分析	調達、生産、物流、サービス等の自社業務の一連の流れを把握する	R0	
2015/06/26	内部環境の分析	事業管理のために必要な情報が自社内のどこに、誰によって、どのように管理されているか把握する	R3	

[戻る](#)

## フレームワーク閲覧

部下のレベル判定結果を閲覧します。

メニューの「レベル判定結果」→「フレームワーク名」をクリックすると、次のような画面が表示され、フレームワークを閲覧できます。

キャリアフレームワーク

◆社員指定  
社員番号  社員名   
GO

◆その他の条件  
本部選択 指定なし   
本部 指定なし   
GO

◆表示オプション  
○キャリアパス表示  
非表示

GO

SURVEY情報が有効の場合、提出状況が表示されます。

SURVEY提出済: 0人    該当者数: 14人 (レベル判定者: 10人、レベル未判定者: 4人)    スキル設定中: 1人    スキル未設定: 13人

役割	専門分野	エントリー Level1	アシスタント Level2	ミドル Level3	シニア Level4	エキスパート Level5	プロフェッショナル Level6	合計
ストラテジックプランナー	-					0	0	0
ソリューションセールス	-	3	0	1	0	0	0	10
ビジネスコンサルタント	-				0	0	0	0
プロジェクトマネージャー	-				0	0	0	0
ITアーキテクト	-				0	0	0	0
アプリケーションデザイナー	-		0	0	0	0		0
アプリケーションデベロッパー	-	5	4	0				10
インフラデザイナー	-	10	0	0	0	0		10
ITサービスマネージャー	-				0	0	0	0
ITスタッフ	-	3	0	0	0	0		9
合計		34	4	1	0	0	0	39

各レベルをクリックすると、レベル判定条件を閲覧することができます。

また、「その他の条件」を選択することで、各部門のフレームワークを閲覧することができます。（備考参照）

### 備考

◆その他の条件

本部

部門   
A-1 部門  
A-2 部門  
A-3 部門

GO

上部（コンボボックス）で選択した部門の下位部門が、下部（リストボックス）に表示されます。

上部を選択し、下部が「指定なし」もしくは未選択ならば選択した部門とその下位に属する部門総てのフレームワークが表示されます。

また、下部の部門が指定されているならば、選択された部門のフレームワークが表示されます。

## フレームワーク詳細

レベル判定条件の閲覧を行います。

キャリアフレームワーク詳細

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	アプリケーションデベロッパー
専門分野	-
レベル	Level 2

レベル認定条件確認/編集

◆該当者一覧(4名)

00005 User0200008 User0500011 User0800012 User09

戻る

## レベル判定条件

レベル判定条件の閲覧を行います。

フレームワーク詳細の「レベル判定条件確認」をクリックすると、次のような画面が表示され、レベル判定条件のタスク一覧を閲覧することができます。

キャリアフレームワークレベル 認定条件

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	アプリケーションデベロッパー
専門分野	-
レベル	Level 2

◆キャリアフレームワーク キャリアパス下位レベル条件

Group	条件	役割	専門分野	レベル
条件が設定されていません				

◆レベル判定条件 全表示

判定条件	タスク
1 全領域必須	アプリケーション共通基盤設計・構築
2 全領域必須	ソフトウェア詳細設計
3 全領域必須	ソフトウェアコード作成・単体テスト
4 全領域必須	ソフトウェア結合テスト
5 全領域必須	システム適格性確認テスト

閉じる

各タスクをクリックすると次のような画面が表示され、クリックしたタスクの条件を一覧で閲覧することができます。

キャリアフレームワークレベル 認定条件

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	アプリケーションデベロッパー
専門分野	-
レベル	Level 2

◆レベル判定条件

アプリケーション共通基盤設計・構築

全条件必須 1項目以上 アプリケーション共通基盤設計・構築 アプリケーション共通基盤の構築・テスト

前画面に戻る

閉じる

「n項目以上」をクリックすると次のような画面が表示され、クリックしたタスク評価項目単位での習得状況を閲覧することができます。

キャリアフレームワークレベル認定条件

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	アプリケーションデベロッパー
専門分野	-
レベル	Level 2

マウスを合わせると  
回答レベルが表示され  
ます。

◆レベル判定条件

アプリケーション共通基盤設計・構築				レベル条件
1項目以上	アプリケーション共通基盤設計・構築	アプリケーション共通基盤の構築・テスト	設計を踏まえ、アプリケーション共通基盤を構築する	R2
			開発環境上でアプリケーション共通基盤の検証を行う	R2
			アプリケーション共通基盤の維持、管理を行う	R2

前画面に戻る

閉じる

## レベル判定条件（全表示）

レベル判定条件を一覧で閲覧を行います。

レベル判定条件画面の「全表示」をクリックすると、次のような画面が表示され、レベル判定条件を一覧で閲覧することができます。

## キャリアフレームワークレベル認定条件

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	アプリケーションデベロッパー
専門分野	-
レベル	Level 2

### ◆キャリアフレームワーク キャリアパス下位レベル条件

Group	条件	役割	専門分野	レベル
	条件が設定されていません			

### ◆レベル判定条件

アプリケーション共通基盤設計・構築 判定条件(1. 全領域必須)					レベル条件
全条件必須	1項目以上	アプリケーション共通基盤設計・構築	アプリケーション共通基盤の構築・テスト	設計を踏まえ、アプリケーション共通基盤を構築する	R2
				開発環境上でアプリケーション共通基盤の検証を行う	R2
				アプリケーション共通基盤の維持、管理を行う	R2
ソフトウェア詳細設計 判定条件(2. 全領域必須)					レベル条件
全条件必須	4項目以上	ソフトウェア詳細設計	ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	R2
				すべてのソフトウェア要件が、コンポーネントからユニットへ割り当てられることを確認する	R2
			入出力詳細設計	詳細化されたユニット単位に詳細設計を行う	R2
				コンポーネント間のインタフェースの詳細設計を行う	R2
				コンポーネント毎のユーザインタフェースの詳細設計を行う	R2
				バックアップ、リカバリに関するデータファイル保全処理の詳細設計を行う	R2
			パッケージカスタマイズ・アドオン設計	ソフトウェア方式設計で定義したカスタマイズの内容に基づき、パラメータの設定を決定する	R2
				ソフトウェア方式設計で定義したアドオン機能の詳細設計を行う	R2
				パッケージおよびアドオン機能とのインタフェースの詳細設計を行う	R2
			データサービスの活用	外部データサービスとの連携方式およびデータ構造、インタフェースの詳細設計を行う	R2
				外部データサービスと連携するプログラムおよびモジュールを共有化し、詳細設計を行う	R2
				外部データの取り込みや加工のロジックを決定し、詳細設計を行う	R2
	3項目以上	ソフトウェア詳細設計	ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	R2
				すべてのソフトウェア要件が、コンポーネントからユニットへ割り当てられることを確認する	R2

## 個人情報プリントアウト

個人情報のプリントアウトを行います。

個人情報メニューの「個人情報プリントアウト」をクリックすると、次のような画面が表示され、個人情報をプリントアウトすることができます。

個人情報メニュー

User01さんの個人情報

個人情報プリントアウト

ファイル出力はこちら

印刷日: 2015/07/13  
User01さんの個人プロフィール

登録番号: 00004  
氏名: User01  
ログインID: User01  
Eメール:  
所属部門:

User01さんのキャリアフレームワーク

スキル	専門分野	スキルレベル
ストラテジックプランナー	-	1
ソリューションセールス	-	-
ビジネスコンサルタント	-	-
プロジェクトマネージャー	-	-
ITアーキテクト	-	-
アプリケーションデザイナー	-	-
アプリケーションデベロッパー	-	1
インフラデザイナー	-	1
ITサービスマネージャー	-	-
ITスタッフ	-	1

User01さんの業務経歴

部署名 役割 開始日 終了日 コメント  
登録されていません

User01さんのプロジェクト経歴

プロジェクト名	開始日	終了日
プロジェクト経歴	2014/10/01	進行中

会社名	sample
プロジェクト概要	債権管理システム
プロジェクト規模-金額	年保証金1,000万円以上
プロジェクト規模-人数	管理する要員数がピーク時6人以上10人未満のプロジェクト
プロジェクト規模-期間	開発期間6ヶ月未満
プロジェクト規模-その他	
顧客名	〇〇株式会社
役割-職種	サブリーダー/ファンクションや、機能レベルのサブリーダー
資料-システムフェーズ	・プロジェクト計画 ・業務分析 ・基本設計
役割-詳細	
タスク評価項目	
コメント	

User01さんのセミナー受講履歴

セミナー名 受講日 コメント  
登録されていません

User01さんの評価項目

※字は管理またはマネージャーが設定した項目です

登録日	タスク	評価項目	ランク
事業環境の分析			
2015/06/26	経営方針の確認	自社の基本理念・ビジョン・方針を理解する	R1
2015/07/13	経営方針の確認	新たな事業計画を立案するにあたり、経営方針や経営陣の思いを確認し、共有する	R2 訂正あり
2015/06/26	経営方針の確認	事業で達成すべき目標を定めるために、企業目標を把握する	R1
2015/06/26	外部環境の分析	マクロ環境(自社を取り巻く産業や業界)の変化の要因を調査、把握する	R1
2015/06/26	外部環境の分析	自社が所属する業界や自社製品・サービスの市場規模および今後の見通しを調査、把握する	R2
2015/06/26	外部環境の分析	競合他社の市場シェア、収益性、動向を調査、把握する	R2
2015/06/26	内部環境の分析	自社の組織体制、現状人員数、配置状況を把握する	R0
2015/06/26	内部環境の分析	自社の収益性、安全性、生産性等の財務状況を把握する	R0
2015/06/26	内部環境の分析	自社の製品やサービスの売上高、利益率、ライフサイクル上のポジションを把握する	R1
2015/06/26	内部環境の分析	調達、生産、物流、サービス等の自社業務の一連の流れを把握する	R0
2015/06/26	内部環境の分析	事業管理のために必要な情報が自社内のどこに、誰によって、どのように管理されているか把握する	R0

「ファイル出力はこちら」をクリックするとhtmlファイルをzip形式で出力することが出来ます。

## フレームワーク個人目標設定

部下の個人目標設定を行います。

メニューの「フレームワーク」→「フレームワーク個人目標設定」をクリックすると、次のような画面が表示され、部下を検索、フレームワークの選択することができます。

### フレームワーク個人目標設定

---

**◆フレームワーク選択**  

タスク単位フレームワーク

---

**◆社員指定**  

社員番号

\*完全一致検索

社員名

\*中間一致検索

社員検索

---

「社員検索」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、部下の一覧を閲覧することができます。

### フレームワーク個人目標設定

**◆社員選択**

110 サンプルユーザー\_110 111 サンプルユーザー\_111 112 サンプルユーザー\_112 113 サンプルユーザー\_113 114 サンプルユーザー\_114 115 サンプルユーザー\_115 116 サンプルユーザー\_116 117 サンプルユーザー\_117 118 サンプルユーザー\_118 119 サンプルユーザー\_119 150 サンプルユーザー\_150 151 サンプルユーザー\_151 152 サンプルユーザー\_152 153 サンプルユーザー\_153 154 サンプルユーザー\_154 155 サンプルユーザー\_155 156 サンプルユーザー\_156 157 サンプルユーザー\_157 158 サンプルユーザー\_158 159 サンプルユーザー\_159 160 サンプルユーザー\_160 161 サンプルユーザー\_161 162 サンプルユーザー\_162 163 サンプルユーザー\_163 164 サンプルユーザー\_164 165 サンプルユーザー\_165 166 サンプルユーザー\_166 167 サンプルユーザー\_167 168 サンプルユーザー\_168 169 サンプルユーザー\_169 170 サンプルユーザー\_170 171 サンプルユーザー\_171 172 サンプルユーザー\_172 173 サンプルユーザー\_173 174 サンプルユーザー\_174 175 サンプルユーザー\_175 176 サンプルユーザー\_176 177 サンプルユーザー\_177 178 サンプルユーザー\_178 179 サンプルユーザー\_179 z0000001 システム管理者

戻る

社員選択の「ユーザー」をクリックすると、次のような画面が表示され、個人目標を設定することができます。

フレームワーク個人目標設定

・目標にするレベルをチェックして下さい

・設定できる目標は専門分野ごとに1つです

◆フレームワーク選択

キャリアフレームワーク

◆社員指定

社員番号

00004

\*完全一致検索

社員名

User01

\*中間一致検索

社員検索

旗が立っている場所は、目標に設定されているレベルです。

User01さんのキャリアフレームワーク

役割	専門分野	エントリー	アシスタント	ミドル	シニア	エキスパート	プロフェッショナル
		Level1	Level2	Level3	Level4	Level5	Level6
ストラテジックプランナー	-					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ソリューションセールス	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ビジネスコンサルタント	-				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロジェクトマネージャー	-				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ITアーキテクト	-				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリケーションデザイナー	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
アプリケーションデベロッパー	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
インフラデザイナー	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
ITサービスマネージャー	-				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ITスタッフ	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
役割	専門分野	Level1	Level2	Level3	Level4	Level5	Level6
		エントリー	アシスタント	ミドル	シニア	エキスパート	プロフェッショナル

個人目標設定

「個人目標設定」ボタンをクリックすると、入力した内容でフレームワーク目標レベルが設定されます。

- ※ 取得済みのレベルは目標にはできません。
- ※ 設定できる目標レベルは専門分野ごとに1つです。

## CSV出力メニュー

選択した情報をCSVファイルとして、出力します。

メニューの「その他」→「CSV出力メニュー」をクリックすると、出力フォーマットの選択が行えます。

### CSV出力メニュー

◆統計・一覧CSV出力

選択	出力フォーマット
<input type="radio"/>	ユーザー進捗状況一覧
<input type="radio"/>	評価項目統計

◆ユーザー個別CSV出力

選択	出力フォーマット
<input type="radio"/>	タスク評価項目
<input type="radio"/>	キャリアフレームワークレベル

CSV出力

「CSV出力」ボタンをクリックすると、統計・一覧CSV出力フォーマット選択時はCSV出力を行います。ユーザー個別CSV出力フォーマット選択時は、次のような画面が表示され、出力ユーザーの指定を行えます。

### CSV出力メニュー

◆社員指定

社員番号  \*完全一致検索

社員名  \*中間一致検索

社員検索

◆社員選択

14名ヒットしました

社員番号	社員名
00001	admin1
00002	admin2
00004	User01
00005	User02
00006	User03
00007	User04
00008	User05
00009	User06
00010	User07
00011	User08
00012	User09
00013	User10
99999	システム管理者

社員選択の「ユーザー」をクリックすると、そのユーザーの情報がCSV出力されます。

## SURVEY提出状況閲覧

メニューの「その他」→「SURVEY提出状況閲覧」をクリックすると、次のような画面が表示され、部下のSURVEY提出状況の閲覧を行います。

### SURVEY提出状況閲覧

・SURVEY情報を選択してください

---

◆SURVEY情報一覧

提出開始日	提出終了日	備考	有効/無効	操作
2010/01/01	2010/08/31	test2010	有効	状況一覧
2009/01/01	2009/01/31	test2009	無効	状況一覧

### SURVEY提出 状況提出ステータス一覧画面

SURVEY提出状況の閲覧を行います。

SURVEY提出状況閲覧画面の「状況一覧」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、SURVEY提出状況を閲覧することができます。

### SURVEY提出状況閲覧

☒ 提出済ユーザーを表示

---

◆SURVEY提出状況

41名ヒットしました  
1～10人目 次→

社員番号	社員名	ステータス	SURVEY提出日
110	サンプルユーザー_110	設定中	
111	サンプルユーザー_111		
112	サンプルユーザー_112	SURVEY提出済	2010/05/05
113	サンプルユーザー_113		
114	サンプルユーザー_114		
115	サンプルユーザー_115		
116	サンプルユーザー_116		

空欄：未提出の状態です。  
SURVEY提出済：SURVEY提出済の状態です。  
設定中：タスクを登録中の状態です。

提出済みのユーザーは「提出済みユーザーを表示チェックボックス」をチェックし、「再表示」ボタンをクリックすると確認することができます。

なおステータスの表示はSURVEY提出期間内に提出されたユーザーのみとなります。期間外に提出された場合は、ステータスの更新は行われません。

## 履歴差分表示

部下のフレームワークのレベルやタスク評価項目の差分を過去の履歴を使用し、表示します。

本機能の使用設定がされており、比較対象となる履歴が管理者にて取得されている場合のみメニューに表示されます。※デフォルトはOFFになっています。

**履歴差分表示**

◆社員指定  
 社員番号  \*完全一致検索  
 社員名  \*中間一致検索

◆社員選択  
 41名ヒットしました  
 1 ~ 10 人目 次→

社員番号	社員名
110	サンプルユーザー_110
111	サンプルユーザー_111
112	サンプルユーザー_112
113	サンプルユーザー_113
114	サンプルユーザー_114
115	サンプルユーザー_115
116	サンプルユーザー_116
117	サンプルユーザー_117
118	サンプルユーザー_118
119	サンプルユーザー_119

差分を表示する社員を検索し、選択すると次の画面に遷移し、比較する対象を選択できます。

**履歴差分表示**

- ・User01さんの差分を閲覧します
- ・Fromで選択した履歴からToで選択した履歴の差分を取得します
- ・差分閲覧したい履歴を選択してください

FROM			→	TO		
選択	履歴No	履歴取得日		選択	履歴No	履歴取得日
<input checked="" type="radio"/>	現在のレベル・回答ランク		<input checked="" type="radio"/>	現在のレベル・回答ランク		
<input type="radio"/>	1	2015/07/13	<input type="radio"/>	1	2015/07/13	

## 差分表示

比較するFROMとTOの履歴No.を選択し、[差分表示]ボタンをクリックすると、確認アラートの後に差分結果が表示されます。FROMとTOに同じ履歴No.は指定できません。

履歴差分表示

2015/07/13の履歴 → 現在の差分

履歴選択に戻る

■ User01さんのキャリアフレームワーク

役割	専門分野	認定レベル
ストラテジックプランナー	-	0 → 0
ソリューションセールス	-	1 → 1
ビジネスコンサルタント	-	0 → 0
プロジェクトマネージャー	-	0 → 0
ITアーキテクト	-	0 → 0
アプリケーションデザイナー	-	0 → 0
アプリケーションデベロッパー	-	1 → 1
インフラデザイナー	-	1 → 1
ITサービスマネージャー	-	0 → 0
ITスタッフ	-	1 → 1

■ User01さんのタスク評価項目

タスク	評価項目	回答ラック
事業戦略実行体制の確立		
実現可能性の検証	現状と照らし合わせた事業計画の実現性を確認する	R0 → R1
実現可能性の検証	計画と実際に乖離が生じた場合の実施可能な対応策が立てられていることを確認する	R0 → R1
実施準備	実行計画を部門、職位(ポジション)、職務(役割)別に整理する	R3 → R1
実施準備	部門、職位(ポジション)、職務(役割)別に目標を必達目標と挑戦的チャレンジ目標に分けて設定する	R0 → R1
実施準備	全社、部門、チーム毎の目標を定期的にチェックするタイミングを明らかにする	R0 → R1
実施準備	事業計画の遂行を管理する体制を構築する	R0 → R1
実施準備	情報の共有とチェックの方法を明らかにする	R0 → R1
ソフトウェア詳細設計		
ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	R3 → R1
ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	詳細化されたユニット単位に詳細設計を行う	R2 → R3

履歴選択に戻る

## CSV出力

履歴No.選択後[CSV出力]ボタンをクリックすると、下記出力フォーマット選択画面が表示されます。（“フレームワーク名”はフレームワーク認定レベルの差分を出力します。）

CSV出力

2015/07/13 → 現在の差分

出力フォーマットを決定してください。

選択	フォーマットタイトル
<input checked="" type="radio"/>	タスク評価項目差分
<input type="radio"/>	キャリアフレームワーク

CSV出力

履歴選択に戻る

フォーマットを選択し[CSV出力]ボタンをクリックすると、確認メッセージの後CSVファイルが出力されます。

## 留意事項

フレームワークレベル差分に関して、履歴として保管されているデータはレベル判定結果のみとなります。レベル判定条件の変更等は反映されません。

（変更後のレベル判定条件ではレベル1と判定されていた場合でも、履歴保存時にレベル2と判定されていた場合は、レベル2として表示されます。

また、各情報（役割など）の名称は全て現在のものを使用します。